

2025. 9. 15.

「帰国小学生英語保持講座」 言語学博士 服部孝彦教授 特別授業 2025. 10. 11. 楽しさを基盤とする親子協働型英語学習

大妻中野中学校・高等学校では、今年で20年目を迎える「帰国小学生英語保持講座」を毎週土曜日に無料で実施しています。本校のアメリカ人専任教諭が、英語アクティビティ、リーディング、ディスカッション、プレゼンテーションなどを通して、小学生の英語力の保持・向上をサポートしています。

このたび、本講座において、本校教育顧問であり言語学博士、大妻女子大学名誉教授・東京大学大学院講師の服部孝彦先生による特別授業を行います。服部先生は海外子女教育振興財団の英語保持教室でも長年ご指導され、帰国生の英語保持・伸長における第一人者です。

特別講座は以下の通り実施し、講座受講生・保護者の方はもちろん、一般の方もご参加いただけます。参加をご希望の方は、本校グローバル・センター宛に、保護者とお子さまのお名前、在籍小学校・学年、メールアドレスをご記入のうえお申し込みください。授業は対面で実施いたしますが、ご希望の方はオンライン(Zoom)での受講も可能です。

授業実施日時：2025年10月11日(土), 11:50-12:40 場所：大妻中野中学校・高等学校 英語室
申込先：global@otsumanakano.ac.jp 締切：10月7日 23:59 (早めの申込をどうぞ)

講師の服部先生による講座紹介 - 楽しさを基盤とする親子協働型英語学習

帰国生における第二言語喪失の中でも、最も顕著に見られるのは語彙知識の減退です。そのため、語彙力の維持・向上を図ることは極めて重要な課題となります。本特別講義では、親子で楽しく取り組むことができ、かつ語彙喪失の防止に効果的なアクティビティを紹介いたします。具体的には“Word Chain”と呼ばれる語彙ゲームを実施いたします。

Word Chainとは、参加者が順番に単語を書き、それぞれの単語の最後の文字、あるいは最後の複数の文字を用いて次の単語を導き出していく言語活動です。たとえば book の後には kind、さらに desk と続けるように、前の単語の末尾を次の単語の冒頭に接続させる形で展開していきます。この活動は一見遊戯的でありながら、自然な言語運用を促し、語彙の想起・定着を活性化させる教育的意義を有しています。

こうした言語ゲームは、単なる暗記学習とは異なり、帰国生たちが楽しさの中で英語に触れることを可能にします。また、親子でゲームをすることで、家庭内における英語使用の機会を拡充し、学習への動機づけや継続性を高める効果も期待できます。ぜひ親子で本講座に参加し、英語ゲームをエンジョイしてください。



【講師紹介】

大妻中野中学校・高等学校 教育顧問
大妻女子大学名誉教授、東京大学大学院理学系研究科講師。
服部孝彦(はつとり・たかひこ)先生

初等・中等・高等教育を日米両国で受けた元帰国子女。言語学博士(Ph.D.)。早稲田大学講師、米国ケンタッキー州立ムレー大学(MSU)大学院客員教授、大妻女子大学大学院教授等を経て現職。公益財団法人海外子女教育振興財団外国語保持教室アドバイザー、国連英検統括監修官兼外国人面接官指導研修スーパーバイザー、JSAF-IELTSアカデミック・スーパーバイザー、元NHK英語教育番組講師。文部科学省SGHやWWL等の、国のグローバル化のためのリーディング・プロジェクトの中心メンバーとして活躍している。著書に文部科学省検定中学および高校英語教科書他、著書220冊、学術誌発表論文167編、学会発表論文223編、教育誌執筆記事505編。今までの日本及び海外での英語教育、グローバル教育、帰国子女教育関係の講演回数は合計1,360回を超える。日本に本拠地を置く現在でも、海外での講義・講演、国際学会での研究発表を精力的にこなす。

以上

2021年度本校卒業 早稲田大学 国際教養学部 4年 まりこ さん

両親から大妻中野のホームページに帰国小学生英語講座があることを聞き、当時、小学6年生の私は、すぐに始めたい、と自分から申し出ました。アメリカから帰国後、公立の小学校にいた私は英語を話す機会が無く、英語に飢えていたのだと思います。緊張しながらクラスに入ると、先生がとても優しく、フランクに話しかけてくださり、すぐにクラスに馴染むことができました。このクラスでは皆が意見を持ち、お互いを認め合う環境が整っていたのでとても居心地の良い場所に感じました。この講座を受けたことで帰国後の英語能力維持に、とても効果があったと感じています。クラスの友人達とそしてユニークな先生と、授業だけでなくバスケットボールやゲームをしたり、またハロウィンやバレンタインなどの行事も楽しんだりと心に残る思い出はたくさんあります。



2022年度本校卒業 国際基督教大学 ICU 教養学部 3年 かれん さん

私は小学校5年生の2学期に日本へ帰国し、「帰国小学生英語講座」の存在を知りました。この講座は毎週土曜日に開催され、実際に大妻中野で英語の授業を担当されているネイティブの先生が授業を行って下さいました。毎週通うことで、学校や生徒さんの雰囲気を知ることが出来、いつも学校の生徒さんが小学生の私にも笑顔で挨拶してくれたことが印象的でした。入学する前から学校の雰囲気を間近で知れるというのは、この講座を受講する一番の魅力だと思います。私がこの講座で一番印象に残った授業は、グループで行ったプレゼンテーションです。初対面の子とグループになり、図書室で本を借りてリサーチを行い、フィルムの仕組みについて発表しました。初対面の人と共に協力し、発表することで、主体性や協調性、発信力など、新たなスキルを磨くことが出来たと思います。

2022年度本校卒業 東北大大学 農学部 3年 あい さん

私は3才から6才までオーストラリアで過ごし、大妻中野にはグローバル入試で入学しました。英語を忘れないようにと、両親の勧めで、小学4年生からこの帰国小学生英語講座に通い始めました。帰国してすぐのハイレベルな友達に気附れすることもありましたが、ネイティブの先生や周りの友達がフレンドリーに接してくれたので、だんだんと積極的に英語を話せるようになりました。また、英語を使ったさまざまなアクティビティは英語に親しむ良い機会でした。特に、みんなでドッヂボールをしたことやパーティーをしたことをよく覚えています。楽しみながら英語を使うことで、より自然な英語が身につくようになったと思います。

2023年度本校卒業 上智大学 理工学部 2年 わかな さん

小学6年生の春に海外から帰国した私は、担当してくださっているネイティブの先生がとてもフレンドリーで、毎週楽しく通っていました。当時、ネイティブの先生から教えていただけるのがとても新鮮で、海外のインターナショナルスクールで学んでいるような感覚でした。この講座では主に、自分のレベルのあった海外の教科書を使用して、それぞれのグループに分かれて、ディスカッション。いろんな人の意見が聞けて良い刺激になったのを覚えています。みんなが帰国子女なので、気軽に話せますし、本当にインターナショナルスクールで勉強しているようでした。アクティビティにプレゼンテーションをする機会やパーティーなどもあって、とても楽しく通っていました。

2024年度本校卒業 早稲田大学 国際教養学部 1年 ゆり さん

私は海外に住んだ経験はありませんが、インターナショナルプリスクールに通うなど幼少期から英語で話せる環境を大切にしてきました。英語力を伸ばすことができる中学を探していた際、母が大妻中野中学校の「帰国小学生英語講座」を提案してくれました。帰国子女ではない私が参加できるか不安でしたが、小学5年生から通うことができました。授業では、自分のレベルに合ったテキストブックを使用し、グループでディスカッションしながら問題を解いてきました。また、初めての英語でのプレゼンテーションも経験し、自信を持って英語で話す新たな機会となりました。特に、自分の意見を英語で表現する力や、相手の意見を理解する力が大きく向上したと感じています。